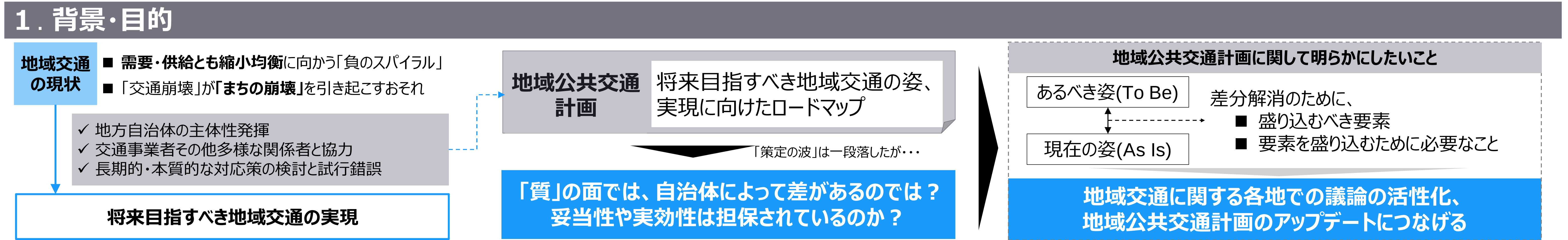


持続可能な地域交通の将来像をどう描いていくべきか？
～地域公共交通計画の詳細分析から見える、「アップデート」への課題～

竹内 稔・白石 俊介・大野 一哉 / EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 インフラストラクチャーアドバイザー
吉野 大介 / 復建調査設計株式会社 東京支社 第二技術部 社会基盤計画課、伊藤ゆうき / 横浜国立大学、神田佑亮 / 呉工業高等専門学校



2. 地域公共交通計画の採点

地域公共交通計画に求められる事項をどの程度満たしているか？
①計画策定プロセス、②計画内容、③策定後の活用状況
3つのフェーズについて採点基準を設定

3. 採点・分析結果

採点項目ごとの平均点

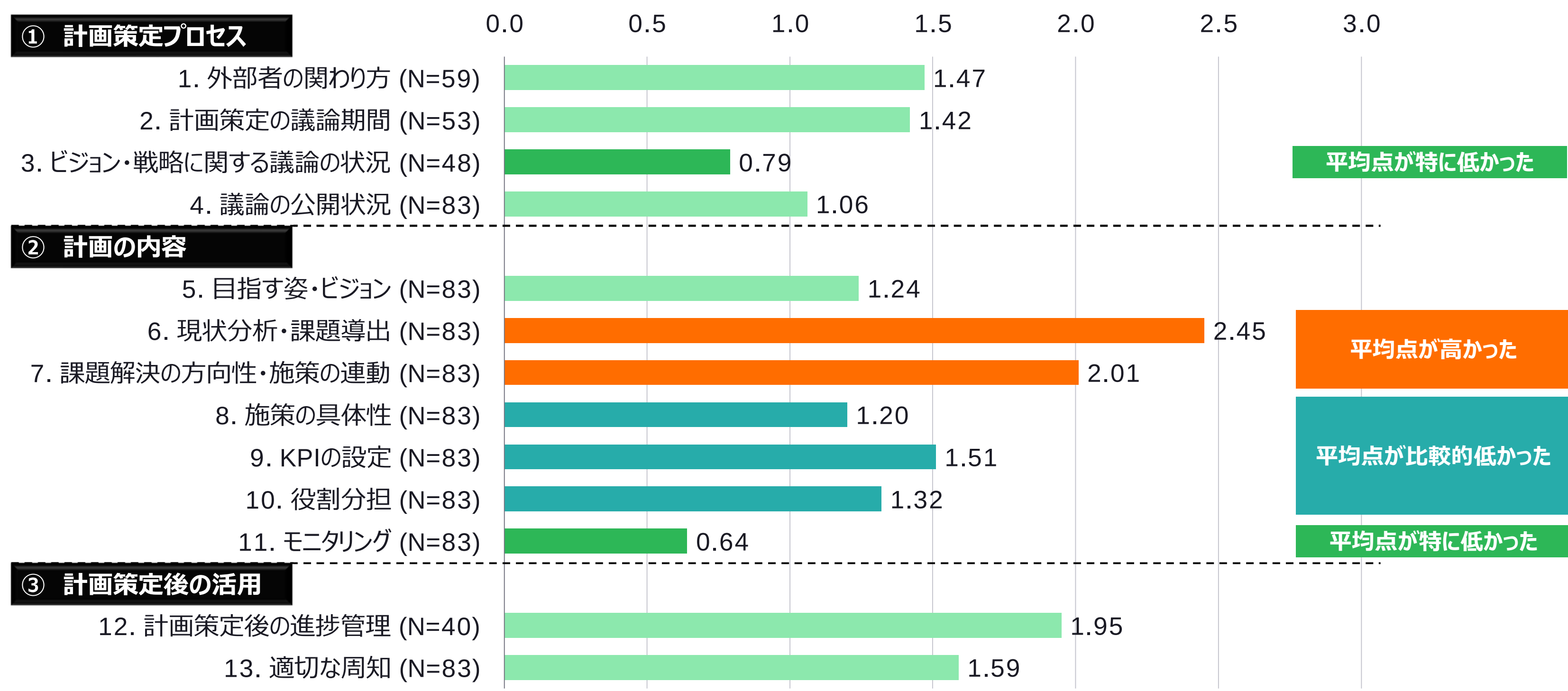
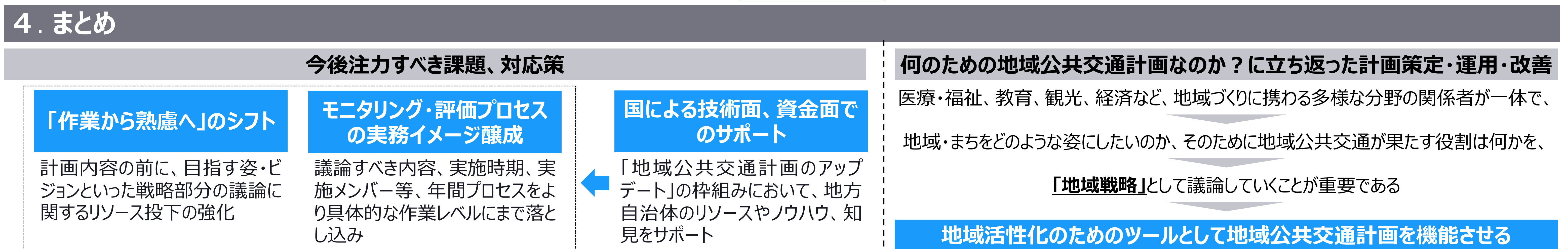
① 計画策定プロセス	「まちの姿」の将来像の観点から、 地域公共交通がいかに貢献できるか を考え、その目指す姿・ビジョンの明確化と合意形成に向けた議論の枠組み構築が重要	
No	採点項目	採点基準
1	計画策定における外部者との関わり方	●3点：学識経験者や交通以外の分野関係者など多様なメンバーが入っていることに加え、協議会の下に、多様なメンバーを活用するための部会などが置かれている ●2点：上記と下記の中間 ●1点：学識経験者や交通以外の分野関係者など多様なメンバーが入っている ●0点：法定の最低限のメンバーのみで対応している
2	計画策定に当たっての議論の期間	●3点：2年超 ●2点：1年以上2年以下 ●1点：半年未満1年以下 ●0点：半年以下
3	計画策定までのビジョン・戦略に関する議論の状況	●3点：ビジョン・戦略に関する議論が、住民等を対象にしたアンケート実施前に、かつ、複数回行われている ●2点：ビジョン・戦略に関する議論が、住民等を対象にしたアンケート実施前に、または、複数回行われている ●1点：協議会の議事録等でビジョン・戦略に関して触れられている形跡がある ●0点：協議会の議事録等でビジョン・戦略に関する議論が行われている形跡がない
4	計画策定までの議論の公開状況	●3点：論点が的確にまとめられた議事録、議事概要が公表されている ●2点：発言内容が分かる議事録が公表されている ●1点：アジェンダ・実施結果のみが記載された議事概要が公表されている ●0点：議事録、議事概要が公表されていない

② 計画の内容	計画を実質的に機能させるには、目指す姿・ビジョンと現状とのギャップ分析によって バックキャスト思考 で課題を見つけ出し、 施策等のアクションレベルまでが、具体的かつ論理的に整合した内容として導出 されていることが重要	
No	採点項目	採点基準
5	目指す姿・ビジョン	●3点：地域全体の課題を踏まえた設定となっていることが明確で、その地域としての独自性がある ●2点：地域課題を捉えた目指す姿・ビジョンが設定されているが、一部不明瞭な点がある ●1点：目指す姿・ビジョンが設定されているものの、全方位的で漠然とした内容となっている ●0点：目指す姿・ビジョンが設定されていない、もしくは、読み取れない
6	現状分析・課題の導出	●3点：ファクトデータに基づき現状分析が行われ、課題との結び付きが明確であり、ストーリー感を持って課題が導出されている ●2点：ファクトデータに基づき現状分析が行われているが、課題との結び付きが一部不明確である ●1点：ファクトデータに基づく現状分析が行われているが、課題との結び付きが不十分である ●0点：ファクトデータの羅列のみで、分析が行われていない
7	課題・解決の方向性・施策の運動	●3点：課題、方向性、施策の3点セットが円滑に運動している ●2点：課題、方向性、施策の3点セットがそろっているが、一部運動していない ●1点：課題、方向性、施策の3点セットはそろっているが、内容が分断されている ●0点：課題、方向性、施策の3点セットがそろっていない
8	施策の具体性	下記該当あれば加点（3点満点） ●タイヤ・便数などのサービスレベルまで触れられている：1点 ●観光・教育といった他分野の計画等と整合が取られた施策が打ち出されている：1点 ●地方自治体が取るべき施策について具体的に打ち出されている：1点
9	KPIの設定	●3点：3点セットとの結び付きが明確なKPIが設定されている ●2点：KPIが設定されているが、3点セットとの結び付きは一部不明確な部分がある ●1点：KPIが設定されているが、3点セットとの結び付きが不明確 ●0点：標準のKPIしか設定されていない
10	役割分担	●3点：いつ、誰が、何をやるか、費用負担の分担も含めて明確 ●2点：いつ、誰が、何をやるかが明確 ●1点：いつ、誰が、何をやるかのうち、いずれかが不明確 ●0点：いつ、誰が、何をやるかの記載がない
11	モニタリング	●3点：モニタリングの体制、内容、方法、時期が明確 ●2点：モニタリングの体制、内容、方法、時期のうち2つ以上が明確 ●1点：モニタリングの体制、内容、方法、時期のうち1つだけ明確 ●0点：PDCAの図のみ、または、何も記載がない

③ 計画策定後の活用	地域公共交通を取り巻く 環境の変化に合わせた計画改善の仕組み作り と、住民の総意としての計画を機能させることに対する行政のコミットメントが重要	
No	採点項目	採点基準
12	計画策定後の進捗管理	●3点：策定後の施策の実行や追加のカスタマイズが行われている ●2点：策定後の計画履行に関する対面議論が年に2回以上 ●1点：策定後の計画履行に関する対面議論が年に1回 ●0点：策定後の計画履行に関する対面議論が行われていない、または報告と予算審議のみ
13	適切な周知	●3点：HP以外の媒体（広報紙、SNS）で発信されているなど相応の工夫がなされている ●2点：HPにおいて、本編のほか概要編を作成するなど読んでもらうための工夫がなされている ●1点：HPにおいて公表されている ●0点：非公表

③ 計画策定後の活用	地域公共交通を取り巻く 環境の変化に合わせた計画改善の仕組み作り と、住民の総意としての計画を機能させることに対する行政のコミットメントが重要	
No	採点項目	採点基準
12	計画策定後の進捗管理	●3点：策定後の施策の実行や追加のカスタマイズが行われている ●2点：策定後の計画履行に関する対面議論が年に2回以上 ●1点：策定後の計画履行に関する対面議論が年に1回 ●0点：策定後の計画履行に関する対面議論が行われていない、または報告と予算審議のみ
13	適切な周知	●3点：HP以外の媒体（広報紙、SNS）で発信されているなど相応の工夫がなされている ●2点：HPにおいて、本編のほか概要編を作成するなど読んでもらうための工夫がなされている ●1点：HPにおいて公表されている ●0点：非公表

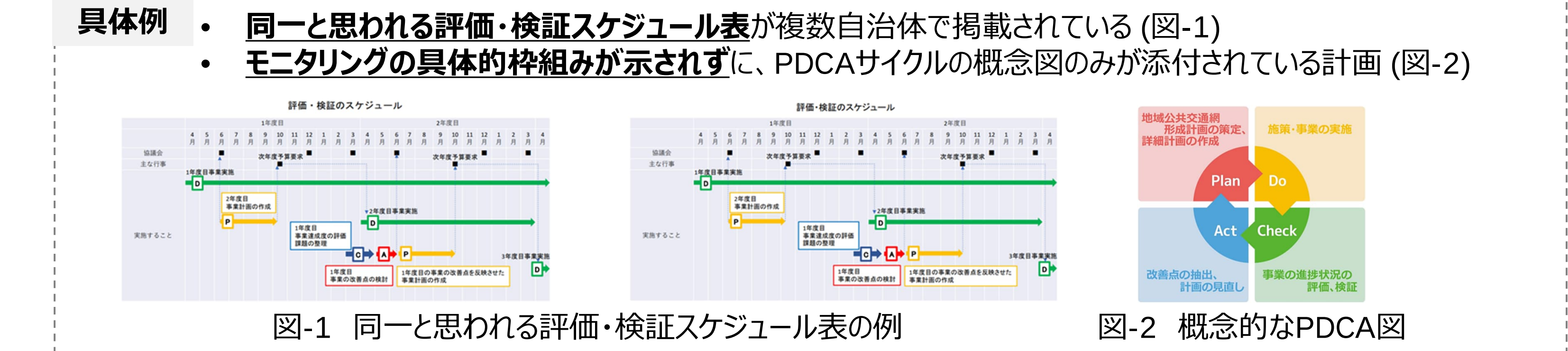
中国地方5県（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、および山口県）の市町村における、**83件の地域公共交通計画につき採点を実施**



十分できている 詳細な現状分析を基に**課題や施策の方向性**が整理されている (6,7)

不足している **具体性のある施策、KPI設定、役割分担**までは踏み込んで整理されていない (8,9,10)

特に不足している **ビジョン・戦略の議論やモニタリングの運用イメージ**は特に不足している (3,11)



計画内容全体の質を高めるには？

詳細な現状分析による効果は？

モニタリングの運用イメージと計画内容の関係は？

計画策定までの**ビジョン・戦略に関する議論をより多く重ねる**ことで、より解像度の高い目指す姿・ビジョンの言語化・定義につながり、**モニタリングまで想定した具体的なイメージを持った現状分析・課題が進めやすくなる**のではないかと (①)

詳細な**現状分析**を行っても、具体的な施策やKPI設定・役割分担といった、アクションプランに該当するような**本質的部分の導出には必ずしも結び付かない**のではないかと (②)

具体的なモニタリング運用を念頭に置き、よりPDCAサイクルを回しやすくしようという観点で計画策定の議論を行うことで、**計画内容全体の熟度が引き上げられる**のではないかと (③)